

平成 27 年度 川崎市立中学校 学習状況調査 概要



◎ 本年度の変更

1. 調査目的の変更

○平成 26 年度

1. 調査の目的

全市的な規模で生徒の学習状況を調査することにより、学習指導上の課題を明らかにする。その結果を、各学校においては、今後の学習指導法の改善や教育課程編成の工夫等、生徒の基礎学力の向上に役立てる。

2. 調査の内容

○国語・社会・数学・理科・英語

調査の目的に基づき、学習指導要領に示されている各教科の目標及び内容の基礎的・基本的な事項について、各教科の出題範囲に基づいて、全学年を対象とする調査を実施した。

○学習意識調査（生活や学習についてのアンケート）

生徒の生活や学習に対する意識等について明らかにするために、第2 学年の生徒を対象とする調査を実施した。

3. 調査の対象

市内全市立中学校の全学年の生徒

4. 調査実施日及び調査対象人数

(1) 調査実施日	平成 26 年 11 月 11 日(火)	
(2) 調査対象人数	中学校第1 学年	9,695 人
	中学校第2 学年	9,279 人
	中学校第3 学年	9,323 人

○平成 27 年度

1. 調査の目的

学習指導要領に示されている各教科（国語・社会・数学・理科・英語）の目標および内容の「基礎的・基本的な知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」について学習したものが、いかに生徒に定着しているかを全市一斉に学年ごとの同一の問題によって調査する。そして、その結果を診断し、今後の学習指導の改善に役立たせる。また、生徒自らが学習状況や学習課題の把握ができるようにする。

2. 調査の内容

○国語・社会・数学・理科・英語

調査の目的に基づき、学習指導要領に示されている各教科の目標及び内容の基礎的・基本的な事項について、各教科の出題範囲に基づいて、全学年を対象とする調査を実施した。

○学習意識調査（生活や学習についてのアンケート）

生徒の生活や学習に対する意識等について明らかにするために、第 2 学年の生徒を対象とする調査を実施した。

3. 調査の対象

市内全市立中学校の全学年の生徒

4. 調査実施日及び調査対象人数

(1) 調査実施日	平成 27 年 11 月 10 日 (火)	
(2) 調査対象人数	中学校第 1 学年	9,796 人
	中学校第 2 学年	9,722 人
	中学校第 3 学年	9,747 人

2. 解答用紙の変更

知識・技能に関する問題と思考・判断・表現に関する問題に分けたことにより、解答用紙を右のように変更しました。

○平成 26 年度

平成 26 年度 中学数学 2 年 解答用紙				問	満点	得点
解答用紙の右下の数字は、集計用の通し番号で、問題には関係ありません。						
問 1	①	②	③	④	1	8
問 2	①	②	③	④	2	6
問 3	①	②	③	④	3	6
問 4	①	②	③	④	4	4
問 5	①	②	③	④	5	4
問 6	①	②	③	④	6	6
問 7	①	②	③	④	7	4
問 8	①	②	③	④	8	4
問 9	①	②	③	④	9	4
問 10	①	②	③	④	10	4
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">採点基準により、得点を記入</div>						
運賃の合計金額					円	⑤
川崎市立				中学校	組	番
				男・女	合計	50

得点の合計

○平成 27 年度

平成 27 年度 中学数学 2 年 解答用紙

解答用紙の右下の数字は、集計用の通し番号で、問題には関係ありません。

問	知技	思判表
問 1	1	/ 4
問 2	2	/ 3
問 3	3	/ 1
問 4	4	/ 3
問 5	5	/ 2 / 1
問 6	6	/ 3
問 7	7	/ 1 / 2
問 8	8	/ 1 / 1
問 9	9	/ 3
問 10	10	/ 2
問 11	11	/ 2

網掛けは、思考・判断・表現に関する問題

正答基準の解答類型により○を付ける
 A：正答
 B：図がかけているが、説明がかけていない
 C：対角線を適当にかいている
 $180^\circ \times 5 - 360^\circ = 540^\circ$

川崎市立	中学校	組	番	男・女
------	-----	---	---	-----

	知技	思判表
正答数	/ 19	/ 10

正答数の合計

3. 個人票の変更

知識・技能に関する問題と思考・判断・表現に関する問題に分けたことにより、個人票を右のように変更しました。

○平成 26 年度

社会

■ 小問別正誤表

大問	小問	問題の内容	内容	観点	正誤	正答率 (%)
問1	ア	日明貿易の輸入品について、正しく理解しているか。	A	③	○	48.7
	イ	室町幕府のしくみについて、資料を読み取り、正しく理解しているか。	A	②③	○	31.6
	ウ	室町時代の文化について、正しく理解し判断しているか。	A	①③	●	32.3
	エ	足利義満の政治について、正しく判断し理解しているか。	A	①③	●	45.4
	オ	中世の商業について、正しく理解しているか。	A	③	●	24.8
問2	カ	中世の東アジアの様子について、正しく判断し理解しているか。	A	①③	●	26.3
	ア	織田信長の政策について、正しく理解し判断しているか。	B	①③	○	72.5
	イ	豊臣秀吉の朝鮮侵略について、正しく理解しているか。	B	③	○	57.5
	ウ	参勤交代について、正しく理解しているか。	B	③	○	59.9
	エ	豊原・天竺一段の場所について、資料を活用し正しく理解しているか。	B	②③	○	53.0
問3	オ	江戸時代の農村の様子について、正しく判断し理解しているか。	B	①③	○	44.3
	ア	近代のフランスについて、正しく判断し理解しているか。	C	①③	●	54.0
	イ	近代のイギリスとアメリカ合衆国について、正しく判断し理解しているか。	C	①③	●	54.6
	ウ	近代の欧米諸国の変化について、正しく判断しているか。	C	①	●	44.8
	エ	ルネサンスの特色について、資料から適切に選択する力があるか。	C	①②	●	63.4
問4	ア	田沼重次政治について、正しく判断し理解しているか。	D	①③	●	30.9
	イ	寛政の改革について、資料を活用し正しく理解しているか。	D	②③	●	43.7
	ウ	江戸時代の新しい学問について、正しく理解しているか。	D	③	●	23.9
	エ	アヘン戦争の結果と日本への影響について、資料を活用し、適切に表現できるか。	D	①②	●	22.1
	オ	井伊直弼の政策について、正しく理解しているか。	D	③	●	66.2
問5	カ	幕末の社会の様子について、資料を活用し、正しく判断しているか。	D	①②	○	60.4
	ア	アメリカ合衆国の地形について、資料を活用し、正しく理解しているか。	E	②③	○	62.1
	イ	アメリカ合衆国発祥のものを、正しく理解しているか。	E	③	●	74.3
	ウ	北アメリカ州の歴史や人種・民族構成について、資料から読み取り、正しく判断しているか。	E	①②	○	67.0
	エ	北アメリカ州の農業について、資料から読み取り、正しく判断しているか。	E	①②	○	78.4
問6	オ	北アメリカ州の航空機・宇宙産業について、資料を読み取り、正しく判断しているか。	E	①②	○	82.6
	ア	南アメリカ州の農業について、正しく理解しているか。	F	③	○	85.6
	イ	時差について、資料を活用し、正しく理解しているか。	F	②③	●	55.8
	ウ	南アメリカ州の気候について、資料を活用し、正しく判断しているか。	F	①②	○	44.0
	エ	ブラジルの環境問題とその対策について、資料を読み取り、正しく判断しているか。	F	①②	●	75.1
問7	オ	南アメリカ州の輸出品の変化について、資料を読み取り、正しく判断しているか。	F	①②	○	70.8
	ア	日本の東部南北の間にある島を、資料を活用し、正しく理解しているか。	G	②③	●	56.9
	イ	排他的経済水域について、正しく理解しているか。	G	③	●	60.8
	ウ	島地帯での暴風被害と接している島がもつとも多い島を、資料を活用し、正しく理解しているか。	G	②③	○	79.1
	エ	日本の離島沿岸と離島府庁所在地について、正しく理解しているか。	G	③	○	70.2
問8	ア	日本の地形の特色について、正しく理解しているか。	H	③	●	71.1
	イ	日本の自然災害について、資料を活用し、正しく理解しているか。	H	②③	○	61.9
	ウ	日本の年齢構成の割合について、資料を活用し、正しく理解しているか。	H	②③	●	76.7
	エ	日本の過疎地域の特色と課題について、資料を活用し、適切に表現できるか。	H	①②	○	63.0
	オ	日本の貿易相手国や輸出入の変化について、資料を活用し、正しく理解しているか。	H	②③	○	82.4
問9	カ	日本の発展方法について、資料を活用し、正しく理解しているか。	H	②③	●	38.9
	キ	日本と世界の地域間の結びつきについて、資料を読み取り、正しく判断しているか。	H	①②	○	76.3
	ア	九州四国連絡橋の開通による交通手段の変化について、資料を活用し、正しく判断しているか。	I	①②	○	78.2
	イ	交通網の発達について、資料を読み取り、正しく判断しているか。	I	①②	○	85.8
	ウ	瀬戸内工業地域について、資料を活用し、正しく判断しているか。	I	②③	○	85.8
	エ	水産物の輸入品目について、資料を活用し、正しく判断しているか。	I	①②	●	53.2
	オ	中国・四国地方の農業の特色について、資料を読み取り、正しく判断しているか。	I	①②	○	80.1
	カ	中国・四国地方と他地域との結びつきについて、資料を読み取り、正しく判断しているか。	I	①②	○	73.6

■ 観点別分析

観点名	あなたの正答率	川崎市平均正答率
① 社会的な思考・判断・表現	56.0%	59.2%
② 資料活用・技能	67.9%	64.4%
③ 社会的現象についての知識・理解	45.2%	55.9%

■ 観点別グラフ

■ 意識調査

質問	選択肢	回答率
わからない地名に出会ったら、自分で地図帳やインターネットなどを使って調べますか。	調べようとしている	16.1
	どちらかといえば、調べようとしている	26.0
	どちらかといえば、調べようとしていない	27.5
	調べようとしていない	30.3
	無回答	0.1
歴史上の人物やできごとをあつかったりする本を読むことは好きですか。	すきだ	24.7
	どちらかといえば、すきだ	25.4
	どちらかといえば、すきではない	24.9
	すきではない	25.1
	無回答	0.1
社会のできごとやニュースに関心がありますか。	関心がある	29.0
	どちらかといえば、関心がある	42.0
	どちらかといえば、関心がない	18.9
	関心がない	10.1
	無回答	0.1

■ 問題内容別分析

問題内容	あなたの得点	配点	得点率
A 中世の日本の政治と社会	2	6	33.3%
B 近代の政治と社会	5	5	100%
C 中世から近代の世界のようす	0	4	0%
D 近世から近代の日本の政治と社会	1	7	14.3%
E 世界の国々（北アメリカ州の特徴）	4	5	80%
F 世界の国々（南アメリカ州の特徴）	3	5	60%
G 日本の地域構成	2	4	50%
H 様々な面からとらえた日本	5	8	62.5%
I 日本の諸地域（他地域との結びつき）	5	6	83.3%

■■■■■ あなたの得点率 ■■■■■ 川崎市平均得点率

各小問の正誤状況は「○…正答」「●…誤答」「△…部分点」「―…無解答」を表しています。正答率は「川崎市全体の正答率」を表しています。

各設問に対し、川崎市全体の回答の割合を%で示しています。あなたの回答は棒グラフに占まれています。

○平成 27 年度

「知技」「思判表」の欄を設定

平均正答率による分析として、自分の正答率と川崎市平均正答率を知識・技能と思考・判断・表現ごとに示す

社会

■ 小問別正誤表

大問	小問	問題の内容	内評	知技	思判	観点	正誤	正答率 (%)
問1	ア	織田信長の統一事業について、正しく理解しているかを問う。	A	○	○	②③	○	67.7
	イ	鎌倉幕府の覆没について、正しく理解しているかを問う。	A	○	○	②③	○	67.9
	ウ	江戸の幕府が覆った背景について、資料を正しく読み取っているかを問う。	A	○	○	①②	●	45.8
問2	エ	応仁の乱後の社会について、正しく理解しているかを問う。	A	○	○	②③	●	55.3
	オ	中世から近世の出来事の流れについて、正しく判断しているかを問う。	A	○	○	①③	○	44.5
	イ	後醍醐天皇の政治について、正しく理解しているかを問う。	B	○	○	③	○	51.4
問3	ア	室町時代の社会のようすについて、正しく理解しているかを問う。	B	○	○	③	●	40.3
	ウ	室町文化について、正しく理解しているかを問う。	B	○	○	②③	○	60.5
	エ	戦国時代の外国とのかかわりについて、正しく理解しているかを問う。	B	○	○	③	○	59.6
問4	オ	豊臣秀吉の政治について、正しく理解しているかを問う。	B	○	○	①③	○	69.4
	イ	江戸時代の幕府について、資料を正しく読み取り、判断できるかを問う。	C	○	○	①②	○	82.0
	ウ	江戸時代の身分制度について、正しく理解しているかを問う。	C	○	○	②③	○	66.3
問5	イ	化政文化について、正しく理解しているかを問う。	C	○	○	②③	○	70.5
	エ	元禄文化について、正しく理解しているかを問う。	C	○	○	②③	●	62.8
	オ	武家諸法度について、正しく理解しているかを問う。	D	○	○	②③	○	39.8
問6	イ	欧米諸国のようすについて、正しく判断しているかを問う。	D	○	○	①③	●	59.1
	ウ	江戸時代の貿易について、正しく理解しているかを問う。	D	○	○	③	●	52.6
	エ	享保の改革について、正しく理解しているかを問う。	D	○	○	③	●	47.9
問7	オ	三角貿易の仕組みについて、資料から正しく理解しているかを問う。	D	○	○	①③	●	64.6
	カ	日米修好通商条約について、正しく判断しているかを問う。	D	○	○	①③	●	53.0
	キ	大政奉還について、正しく理解しているかを問う。	D	○	○	③	○	76.6
問8	ア	南アメリカ州の自然環境について、正しく理解しているかを問う。	E	○	○	①②	●	53.0
	イ	南アメリカ州の気候について、資料を読み取っているかを問う。	E	○	○	①②	●	48.6
	ウ	南アメリカ州の資源について、正しく理解しているかを問う。	E	○	○	①③	○	42.9
問9	エ	ブラジルの選挙制度の仕組みについて、資料から正しく判断しているかを問う。	E	○	○	①②	○	69.7
	オ	時差計算について、正しく理解しているかを問う。	E	○	○	①②	○	47.2
	ア	オセアニア州の農業について、正しく理解しているかを問う。	F	○	○	②③	○	52.1
問10	イ	オセアニア州の資源について、資料から正しく判断しているかを問う。	F	○	○	①②	●	32.9
	ウ	オーストラリアの農業について、資料から正しく判断しているかを問う。	F	○	○	①	●	59.9
	エ	ニュージーランドの産業について、正しく判断しているかを問う。	F	○	○	①②	○	59.7
問11	オ	オーストラリアの都市について、資料を正しく読み取っているかを問う。	F	○	○	①②	○	78.0
	イ	北方領土について、正しく理解しているかを問う。	G	○	○	②③	○	56.5
	ウ	日本の範囲について、資料を正しく読み取っているかを問う。	G	○	○	②③	●	55.5
問12	エ	日本の領土拡大について、資料を正しく読み取っているかを問う。	G	○	○	②③	●	70.6
	オ	フォッサマグナについて、正しく理解しているかを問う。	G	○	○	②③	-	41.0
	カ	都道府県と都道府県庁所在地について、正しく理解しているかを問う。	G	○	○	②③	○	56.5
問13	イ	日本にみられる地形について、資料を正しく読み取っているかを問う。	G	○	○	①②	●	74.6
	ウ	日本の人口の増加について、資料を正しく読み取っているかを問う。	H	○	○	②	●	68.7
	エ	日本のエネルギーの変化と特色について、資料から適切に判断しているかを問う。	H	○	○	①	○	35.7
問14	イ	日本の工業の特色について、資料を正しく読み取っているかを問う。	H	○	○	①②	○	74.5
	ウ	日本の工業の特色について、資料を正しく読み取っているかを問う。	H	○	○	①②	○	75.6
	エ	日本の農業の現状について、資料から正しく判断しているかを問う。	H	○	○	①②	○	63.6
問15	オ	シラスの分布について、資料を正しく読み取っているかを問う。	I	○	○	②	○	43.7
	イ	瀬戸内工業地域の特色について、正しく理解しているかを問う。	I	○	○	①②	●	45.4
	ウ	九州地方の気候について、資料を正しく読み取っているかを問う。	I	○	○	②	○	39.9
問16	エ	宮崎県の農業について、資料を正しく読み取っているかを問う。	I	○	○	②③	○	61.4
	オ	中国・四国地方の交通網の発展について、資料から正しく判断しているかを問う。	I	○	○	①②	○	55.4
	カ	農業と交通網の発達について、資料から正しく判断しているかを問う。	I	○	○	①②	○	75.5

各小問の正誤状況は「○…正答」「●…誤答」「-…無解答」を表しています。
正答率は「川崎市全体の正答率」を表しています。

■ 問題内容別分析

問題内容	あなたの正答数	正答数	正答率
A 中世の武家社会	3	5	
B 中世の社会のようす	4	5	
C 江戸時代の社会のようすや文化	3	4	
D 江戸時代の社会の変化と諸外国のようす	2	7	
E 世界の諸地域（南アメリカ州）	3	5	
F 世界の諸地域（オセアニア州）	3	5	
G 日本の国土の範囲と特色	2	6	
H 世界と比べた日本の地域的特色	4	5	
I 日本の諸地域（九州・中国・四国地方）	5	6	

あなたの正答率 川崎市平均正答率

■ 平均正答率による分析

主な趣旨	あなたの正答率	川崎市平均正答率
知識・技能	61.8%	57.6%
思考・判断・表現	57.1%	58.4%

■ 観点別分析

観点名	あなたの正答率	川崎市平均正答率
① 社会的な思考・判断・表現	58.3%	58.8%
② 資料活用・技能	64.7%	59.4%
③ 社会的現象についての知識・理解	59.3%	57.3%

■ 観点別グラフ



■ 意識調査

質問	回答率
わからない地名に出会ったら、自分で地図帳やインターネットなどを使って調べますか。	
調べようとしている	18.5
どちらかといえば、調べようとしている	27.0
どちらかといえば、調べようとしていない	26.1
調べようとしていない	28.3
無回答	0.1
歴史上の人物やできごとをあつまっている本を読むことは好きですか。	
すきだ	24.8
どちらかといえば、すきだ	27.1
どちらかといえば、すきではない	23.0
すきではない	25.0
無回答	0.1
社会のできごとやニュースに関心がありますか。	
関心がある	29.7
どちらかといえば、関心がある	40.7
どちらかといえば、関心がない	18.3
関心がない	11.2
無回答	0.1

各設問に対し、川崎市全体の回答の割合を%で示しています。
あなたの回答は緑色の部分に示されています。

4. 小問別問題内容と結果正答率の変更

知識・技能に関する問題と思考・判断・表現に関する問題に分けたことにより、小問別問題内容と結果正答率を右のように変更しました。

○平成 26 年度

1. 小問別の問題内容と結果正答率 [数学第2学年]

問題番号		観点			問題の内容	出題のねらい	正答率(%)		無答率
大問	小問	考	表	知					
1	①		◎		文字式の計算	同類項を整理することができる。		83	2
	②		◎			展開式を用いて、同類項を整理することができる。		82	3
	③		◎			数字と文字の混じった乗除の計算ができる。		67	5
	④		◎			同類項を整理することができる。		51	8
2	①(i)		◎		等式の変形・式の値	等式の変形ができる。		46	22
	①(ii)		◎			与えられた数値を代入して、正しい値を求めることができる。		43	26
	②		◎			与えられた数値を代入して、正しい値を求めることができる。		44	22
3	①		◎		連立方程式の解法	加減法を用いて、連立方程式を解くことができる。		76	4
	②		◎			代入法を用いて、連立方程式を解くことができる。		68	9
	③		◎			連立方程式を解くことができる。		80	8
4	①	◎			連立方程式の応用	問題文の条件から何をx、何をyとおけばよいかを判断することができる。		59	5
	②	◎				連立方程式を立てることができる。		71	18
5	①	◎			比例・反比例	表から式を判断し、そのグラフを書くことができる。		42	5
	②		◎			問題文から、反比例の式を立てることができる。		34	22
6	①		◎		空間図形・平面図形	円錐の体積を求めることができる。		40	14
	②			◎		円錐の展開図を判断することができる。		55	2
	③			◎		平面図と見取り図の関係を判断することができる。		66	2
7	①		◎		平行線と角・多角形の角	角の性質を利用して、正しい値を求めることができる。		22	21
	②		◎			多角形の角の性質を利用して、問われている値を求めることができる。		44	10
8	①	◎			三角形の合同	問題文の条件から、問われている式を求めることができる。		54	8
	②		◎			証明の内容から問われている三角形の合同条件を判断することができる。		65	10
9	①		◎		資料の活用	表Aの内容から問われている度数分布表をつくることができる。		84	5
	②		◎			与えられた情報から推論・比較して意味を理解することができる。		54	4
10	①		◎		課題学習	与えられた情報から推論・比較して意味を理解することができる。		28	6
	②		◎			与えられた情報から推論・比較して意味を理解し、問われている運賃の合計金額を求めることができる。		22	47

◎…主たる観点

「知技」「思判表」の欄を設定

○平成 27 年度

1. 小問別の問題内容と結果正答率 [数学第 2 学年]

問題番号	趣旨		観点	問題の内容	出題のねらい	正答率(%)		無答率
	大問	小問				知・技	思判表	
1		①	◎	◎	文字を使った式の活用	単項式や多項式の四則計算をすることができる。	84	3
		②	◎	◎		単項式や多項式の四則計算をすることができる。	80	4
		③	◎	◎			64	7
		④	◎	◎			55	10
2		①(i)	◎	◎	等式の値		26	26
		①(ii)	◎	◎			61	13
		②	◎	◎		文字を使った式の確に処理し、式の値を求めることができる。	39	22
3			◎	◎	文字を使った式の活用	整数の性質について文字を使った式を用いて適切に説明することができる。	16	38
4		①	◎	◎	連立方程式の解き方	加減法や代入法を用いて、連立2元1次方程式を解くことができる。	84	6
		②	◎	◎		加減法や代入法を用いて、連立2元1次方程式を解くことができる。	69	12
		③	◎	◎		加減法や代入法を用いて、連立2元1次方程式を解くことができる。	64	12
5		①	◎	◎	連立方程式の活用	具体的な事象の中の数量の関係を捉え連立2元1次方程式をつくることができる。	90	5
		② i	◎	◎		具体的な事象の中の数量の関係を捉え連立2元1次方程式をつくることができる。	75	10
		② ii	◎	◎		求めた解や解決の方法が適切であるかどうかを振り返って考え、その理由を説明することができる。	53	12
6		①式	◎	◎	比例・反比例	比例・反比例の関係を表・式・グラフで表すことができる。	49	7
		①グ	◎	◎		比例・反比例の関係を表・式・グラフで表すことができる。	64	12
		②	◎	◎		反比例の関係を式に表すことができる。	33	26
7		① i	◎	◎	空間図形・平面図形	基本的な立体の体積を求めることができる。	58	13
		① ii	◎	◎		円錐と円柱の体積の関係を捉えることができる。	57	5
		②	◎	◎		見取図から、条件に合う適切な展開図を判断することができる。	59	4
8		①	◎	◎	平行線と角・多角形の角	平行線や三角形の角、多角形の角に関する性質を用いて、角の大きさを求めることができる。	49	17
		②	◎	◎		平行線や三角形の角、多角形の角に関する性質を用いて、五角形の内角の和について説明することができる。	37	27
9		ア	◎	◎	三角形の合同	三角形の合同条件を用いて、2つの三角形が合同であることを証明することができる。	61	12
		イ	◎	◎		三角形の合同条件を用いて、2つの三角形が合同であることを証明することができる。	20	21
		ウ	◎	◎		三角形の合同条件を用いて、2つの三角形が合同であることを証明することができる。	61	16
10		①	◎	◎	資料の活用	資料の整理のしかたや代表値の意味を理解している。	21	13
		②	◎	◎		度数分布表やヒストグラムを基にして資料の傾向を読み取ることができる。	31	6
11		①	◎	◎	活用に関する問題	与えられた情報から表を読み取って料金を求めることができる。	75	13
		②	◎	◎		示された条件に合う方法を見出し、適切な料金を求めることができる。	10	17

知識・技能に関する問題と思考力・判断力・表現力に関する問題の区別を◎で示す

知識・技能と思考・判断・表現の川崎市の平均正答率を示す

平均正答率(%)	
知識・技能	57.6
思考・判断・表現	48.8

◎…主たる観点 ○従たる観点

5. 自己分析カードの作成

1, 3年生が、自分の解答状況を見ながら、設問ごとに分析し、学習状況を振り返るために自己分析カードを作成しました。(1, 3年の国語、社会、数学、理科、英語)

平成27年度 川崎市学習診断テスト 国語 1年 自己分析カード								
大問	小問	出題のねらい	正→○ 誤→×	知識 技能	思考 判断 表現	問題内容	内容別 合計	
問一	ア-1	●新聞記事に対する意見発表 ・内容の理解、把握ができるか。 ・発表の工夫を理解することができるか。				聞き取り(意見発表)		
	ア-2							
	ア-3							
	ア-4							
	イ							
	ウ				/5			
	エ						/1	/6
問二	ア-1	●言語事項に関する基礎的な知識が身に付いているか。 既習の漢字について読字、書字ができるか。 ・漢字の部首が理解できるか。 ・言葉の単位が理解できるか。 ・同じ読みで意味の異なる漢字が理解できるか。				漢字の書き		
	ア-2							
	ア-3							
	ア-4							
	ア-5							
	イ-1							
	イ-2							
	イ-3							
	イ-4							
	イ-5							
	ウ							
	エ					言葉に関する知識		
	オ				/13			
問三	ア	●毛筆・硬筆における楷書の書き方を理解しているか。 ・筆順のきまりについて、行の整え方について理解できるか。				書写に関する知識		
	イ							
	エ				/2		/15	
問四	ア	●詩の読解ができるか。 ・内容が読み取れるか。 ・詩中の語句の使い方について理解できるか。 ・表現上の特色が理解できるか。				詩の読み取り		
	イ							
	ウ							
	エ							
	オI							
	オII							
	オIII				/3			
	エ						/4	
問五	ア	●文学的文章の読解ができるか。 ・内容が読み取れるか。 ・文章中の語句の使い方について理解できるか。 ・表現上の特色が理解できるか。				文学的文章の読み取り		
	イ							
	ウ							
	エ							
	オ							
	カ				/2			
	キ						/5	
	ク						/1	
問六	ア	●説明的文章の理解ができるか。 ・内容の理解、把握ができるか。 ・段落相互の関係が理解できるか。						
	イ							
	ウ							
	エ							
	オ							
	カ						/4	
	キ						/1	
							/1	/22
				知技	思判表		合計	
テストの振り返り(自己分析)				/33	/10		/43	
				校 年 組 番				
				氏名				

知識・技能に関する問題の正答数を記入

思考・判断・表現に関する問題の正答数を記入

問題内容ごとに正答数を記入

正答数の合計を記入

自己分析カードから見てくる成果と課題について記入

知識・技能と思考・判断・表現の正答数を記入

6. 各教科の平均正答率の示し方

平均正答率（％）を「知識・技能」と「思考・判断・表現」に分けて示しました。

○全設問の正答率

教科名	平成25年度	平成26年度	平成27年度
国 語	67.6	64.8	63.6
社 会	52.8	59.4	57.6
数 学	59.5	55.2	53.3
理 科	53.1	52.1	55.0
英 語	53.3	52.1	52.8

○問題ごとの正答率

教科名	平成27年度	
	知識・技能	思考・判断・表現
国 語	61.2	69.0
社 会	57.6	57.7
数 学	57.6	48.8
理 科	55.3	55.0
英 語	58.8	45.2

◎ 出題の仕方を変えた問題

1. 国語

文学的文章 内容の理解に関する問題

【観点】

場面の展開や登場人物の描写に注意して読み、内容の理解に役立っている。(読む能力)

平成26年度 問四 エ

エ ―線D「眉を寄せて天井をじっとにらんでいた」とありますが、その後、由真とかなえの話聞いて、はる香の表情が変化します。それがわかる表現を文章中から九字で探し、はじめの三字を書きなさい。

*文章中から抜き出し、そのまま書く。

はる香の表情の変化がわかる表現を文章中からの確に抜き出して書く。

正答 かすか

正答率 68% 無答率6%

はる香の表情の変化がわかる表現を文章中から九字で探し、はじめの三字を書く問題である。

平成27年度 問四 オ

オ「そんなこと」とありますが、「そんなこと」が指し示す内容を本文中の言葉を用いて説明しなさい。ただし、次の条件を満たすように書きなさい。

【条件】

- 1 書き終わりは「こと」とし、一文となるように書くこと。
- 2 書き終わりの言葉を除き、十字以上、二十字以内で書くこと。
- 3 読点（、）も一字と数えること。

*本文中の言葉を用いながら考えて書く。

「そんなこと」の内容を本文中の言葉を用いて説明し、【条件】を満たして書く。

正答 「垂矢が同じグループの風子に推薦されたこと。」

正答率 54% 無答率 12%

「そんなこと」が指し示す内容を【条件】を満たして記述する形式の問題である。

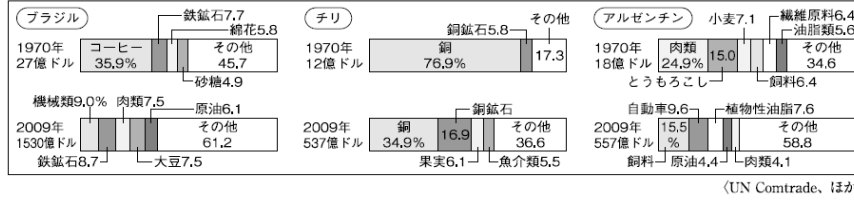
2. 社会

世界の諸地域の貿易に関する問題

平成 26 年度 問 6 (オ)

(オ) 下線④について、つぎの資料をみて読み取れるものを、下の①～④から1つ選び、番号で答えなさい。

資料 おもな国の輸出品の変化



- 1970年と2009年を比較すると、チリでは銅の輸出品の割合は34.9%から76.9%に増加している。
- 1970年の総輸出額はアルゼンチンよりブラジルのほうが多いが、2009年にはアルゼンチンの総輸出額がブラジルの約3倍になっている。
- 1970年と2009年を比較すると、ブラジルの輸出額でもっとも多い品目はコーヒーから機械類に変化し、総輸出額は50倍以上増加している。
- 1970年と2009年を比較すると、アルゼンチンの輸出額でもっとも多い品目は肉類から飼料に変化し、総輸出額は減少している。

【観点】

南アメリカ州の輸出品について正しく資料を読み取っている。(資料活用の技能)

資料を読み取り、そこからわかる事実に基づいて正しい選択肢を選ぶ

ブラジル、チリ、アルゼンチンの1970年と2009年の総輸出額と輸出品の割合の変化を正しく読み取り、そこからわかる事実に基づいて正しい選択肢を選ぶ。

正答③

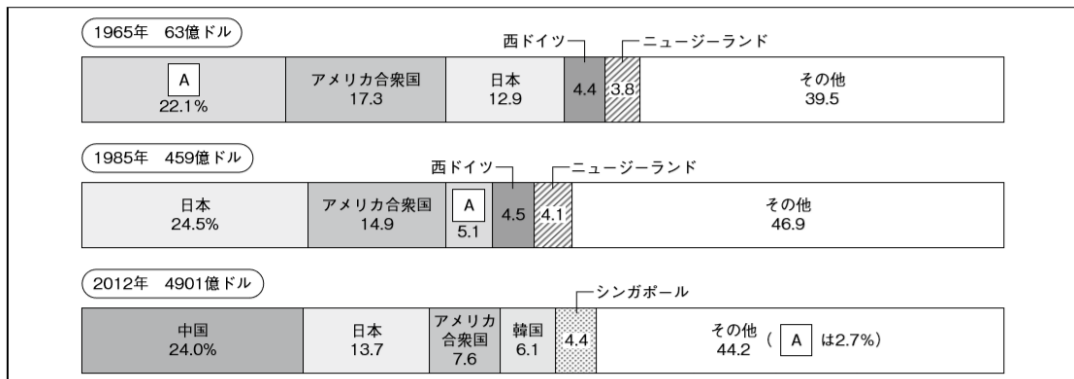
正答率 (%) 71

平成 27 年度 問 6 (ウ)

えいじさん：さらにオーストラリアは ⑤ 鉱産資源が豊富な国です。その豊富な鉱産資源をもとに ⑥ さまざまな国と貿易をおこなってきました。

(ウ) 下線⑥について、つぎの資料Ⅲ中の [A] にあてはまる国名を、下の [] の中の①～④から1つ選び、番号で答えなさい。

資料 オーストラリアの貿易相手国の変化



(UN comtrade)

- ① イギリス ② フランス ③ ポルトガル ④ オランダ

資料を読み取り、そこからわかる事実と既習事項を関連付けて考え判断し、正しい選択肢を選ぶ

オーストラリアの貿易相手国の変化をグラフから読み取る。また、オーストラリアは、戦後はヨーロッパの国々との結びつきが強かったが、近年はアジアとの結びつきが強くなってきていることや、以前イギリスの植民地であったことなどの既習事項を関連付けて考え判断し、正しい選択肢を選ぶ。

正答① 正答率 (%) 60

【観点】

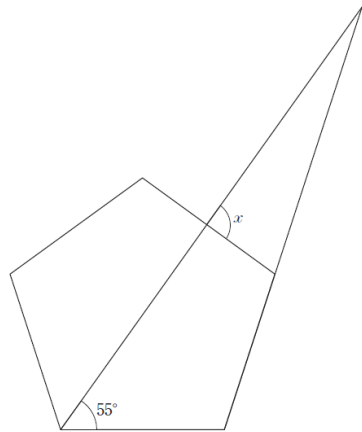
オーストラリアの貿易について、資料から正しく読み取り、既習の知識と関連付けて正しく判断している。(思考・判断・表現)

3. 数学

多角形の角の性質に関する問題

平成 26 年度 問 7 ②

下の図のように正五角形と三角形が重なっています。
このとき、 $\angle x$ の大きさを求めなさい。



正五角形の一つの内角の大きさが 108° であることを使って、角の大きさを求める。

正答 91° 正答率 44%

【観点】

多角形の内角や外角の性質を利用して、角を求めることができる。(数学的な技能)

平成 27 年度 問 8 ②

五角形の内角の和は 540° です。その求め方をア、イの2つの考え方で、下のような表にまとめています。イの求め方は $180^\circ \times 5 - 360^\circ = 540^\circ$ という式です。このとき、イの考え方を図と言葉を使って説明しなさい。

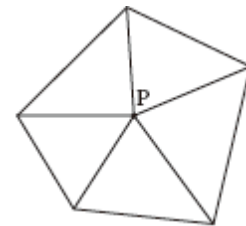
	ア	イ
図		
言葉	(点 P から対角線をひいて、五角形を 3 個の三角形に分ける。この 3 個の三角形の内角の和が五角形の内角の和に等しい。)	()
式	$180^\circ \times 3 = 540^\circ$	$180^\circ \times 5 - 360^\circ = 540^\circ$

【観点】

多角形の内角の性質について、
図や言葉を使って説明することができる。
(数学的な見方や考え方)

アの方法を参考に、イの方法について、式を読み、図と言葉を使って説明する。

正答

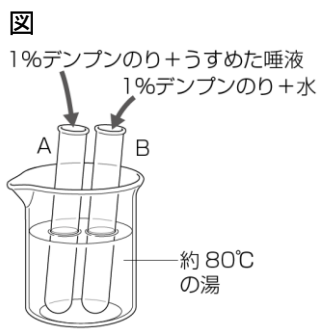


五角形を 5 個の三角形にわけると、この 5 個の三角形の内角の和の全体から、P のまわりに集まる角を引く。

正答率 37%

4. 理科

唾液のはたらきを調べる実験に関する問題



ビーカー内のお湯の温度

平成 26 年度
適切な 40°C で実験



平成 27 年度
不適切な 80°C で実験

結果	ヨウ素溶液	ベネジクト溶液
デンプン+唾液	変化なし	赤褐色に変化
デンプン+水	青紫色に変化	変化なし

結果	ヨウ素溶液	ベネジクト溶液
デンプン+唾液	青紫色に変化	変化なし
デンプン+水	青紫色に変化	変化なし

平成 26 年度 問 13 a

図で唾液のかわりに水を入れた試験管 B をつくるのはなぜですか。また、40°C のお湯に入れるのはなぜですか。これらの理由として正しいものの組み合わせを、次の①～④から 1 つ選びなさい。

	唾液のかわりに水を入れる理由	40°C の湯に入れる理由
①	唾液がデンプンにはたらくことを明らかにするため	唾液にふくまれる消化酵素がはたらきやすい温度にするため
②	唾液がデンプンにはたらくことを明らかにするため	デンプンを水にとけやすくするため
③	水がデンプンにはたらくことを明らかにするため	唾液にふくまれる消化酵素がはたらきやすい温度にするため
④	水がデンプンにはたらくことを明らかにするため	デンプンを水にとけやすくするため

授業で扱う実験なので、唾液によるデンプンの分解が活発になる温度を知っていれば正解できる。
正答② 正答率 71%

【観点】

消化酵素がはたらく温度を理解しているか。(実験・観察の技能)

平成 27 年度 問 13 b

川崎さんは《考察》をもとに、《方法》の一部を変えて再実験を行いました。このとき、どの部分の操作を変えたと考えられますか。《方法》の下線部①～④から 1 つ選び、その番号を答えなさい。また、その操作をどのように変えたらよいかを書きなさい。

《方法》

試験管 A、B に 1% のデンプンのりを 10 cm³ 用意し A にはうすめた①唾液を 2 cm³、B には②水を 2 cm³ をそれぞれ加え、③約 80°C の湯に④5 分間入れた。

《考察》

結果に変化が見られなかったため、実験方法に問題があったことが考えられる。調べてみると、唾液は人の体温に近い温度でなければうまくはたらかないことがわかったので、方法を変えて再実験を行いたい。

実験失敗の原因を振り振り、《考察》と結びつけて考え、実験操作の 80°C に原因があったと判断し、その操作の改善方法を記述する。

正答 ③
人の体温に近い 40°C にかえる
正答率 50%

【観点】

考察をもとに実験操作の問題点を見出し修正できるか。(科学的な思考・表現)

5. 英語

英作文問題

平成 25 年度 問 9

次の英文はサクラが英語の時間に「私の大切なもの」というテーマで発表した原稿です。日本語のメモを参考にして、①から④の()にふさわしい表現を2語以上で書き、英文を完成させなさい。

Hello, everyone.
 These are my favorite soccer shoes.
 I want to be a "professional soccer player."
 Our school ①() a girls' soccer team.
 So I go to "Nadeshiko junior soccer club" in "Chiba on Saturdays and Sundays."
 It takes about two hours ②() there.
 My cousin Hana also plays soccer there.
 She ③() soccer.
 And she gave these shoes to me on my birthday.
 I was very happy. This is a special ④() gift from her.
 Thank you.

*professional プロの Chiba 千葉(地名)



<メモ>
 ・こんにちは、みんなさん。
 ・これらは私のお気に入りのサッカーシューズです。
 ・わたしはプロのサッカー選手になりたいです。
 ・私たちの学校には女子のサッカーチームがありません。
 ・そこで土曜日と日曜日には、私は千葉にある「なでしこジュニアサッカークラブ」に行きます。
 ・そこに着くために約2時間かかります。
 ・私のいとこのハナも、そこでサッカーをします。
 ・彼女はサッカーが得意です。
 ・そして彼女は私の誕生日にこれらのシューズをくれました。
 ・わたしはとてもうれしかったです。これは彼女からの特別な贈り物です。
 ・ありがとう。

スピーチ場面の英文の中で、内容に応じた重要な文法事項や慣用表現を用いた英語を正確に表現する。

正答 ① doesn't have ② to get
 ③ is good at ④ gift from her

平均正答率 39% 平均無答率 16%

【観点】

与えられた条件を満たすよう、内容に合うように必要な表現を正しく書くことができる。

(外国語表現の能力)

平成 27 年度 問 9

あなたは英語の授業で「自分の好きなこと」についてスピーチすることになりました。あなたの好きなことを1つ の中に書き、そのことについて3つ以上の英文で書きなさい。

- ・それぞれの英文を3語以上で書くこと。
- ・似ている表現の繰り返しは避け、つながりのある英文であること。

Hello. _____

 Thank you.

「自分の好きなこと」を題材に、スピーチの場面を設定し、自分の伝えたいことを英語で表現する。

正答例 baseball
 I like baseball. I practice baseball every day. I want to be a good player.

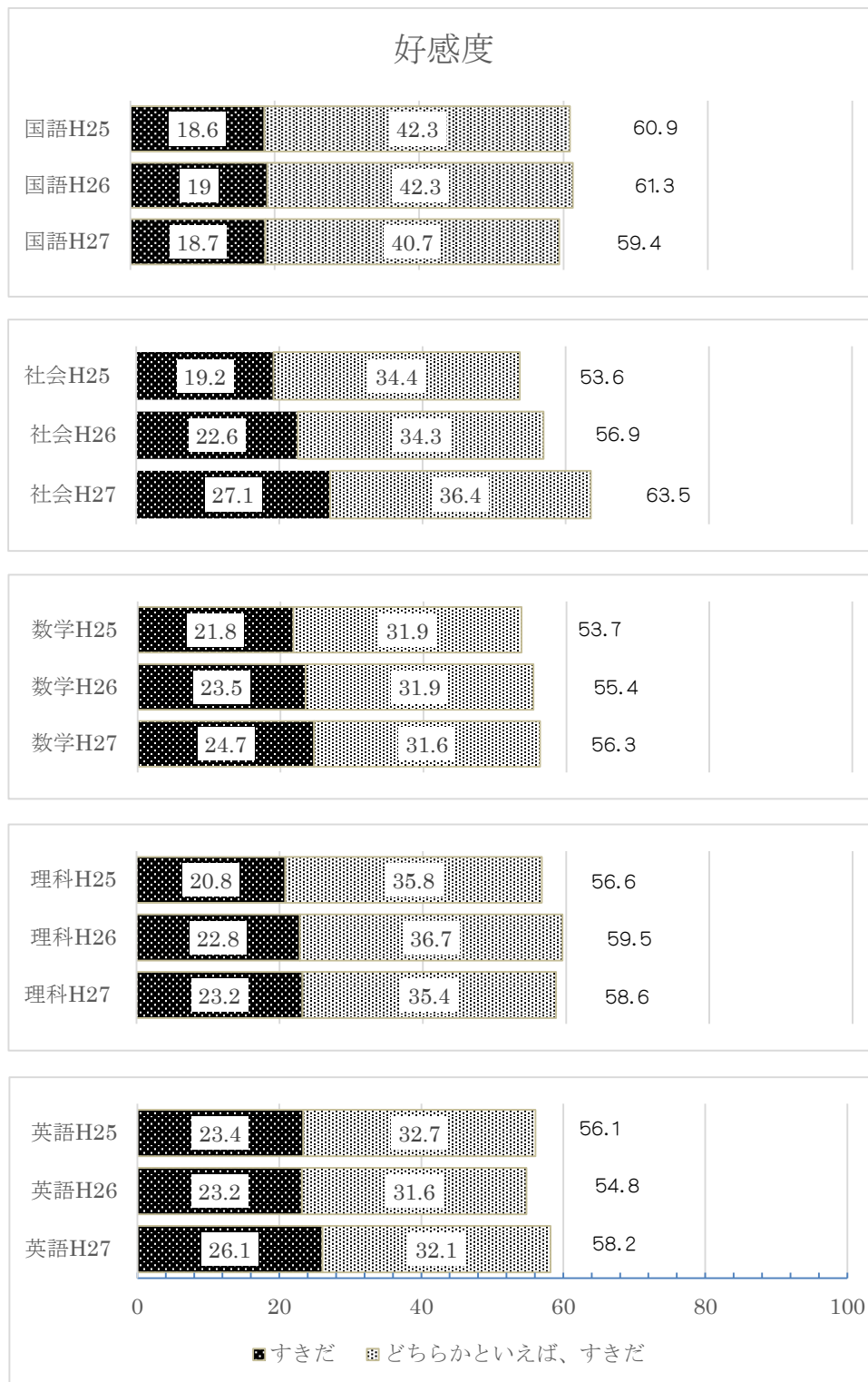
正答率 24% 無答率 17%

【観点】

与えられた条件を満たすよう、ねらいに沿ってつながりのある文章を正しく書くことができる。(外国語表現の能力)

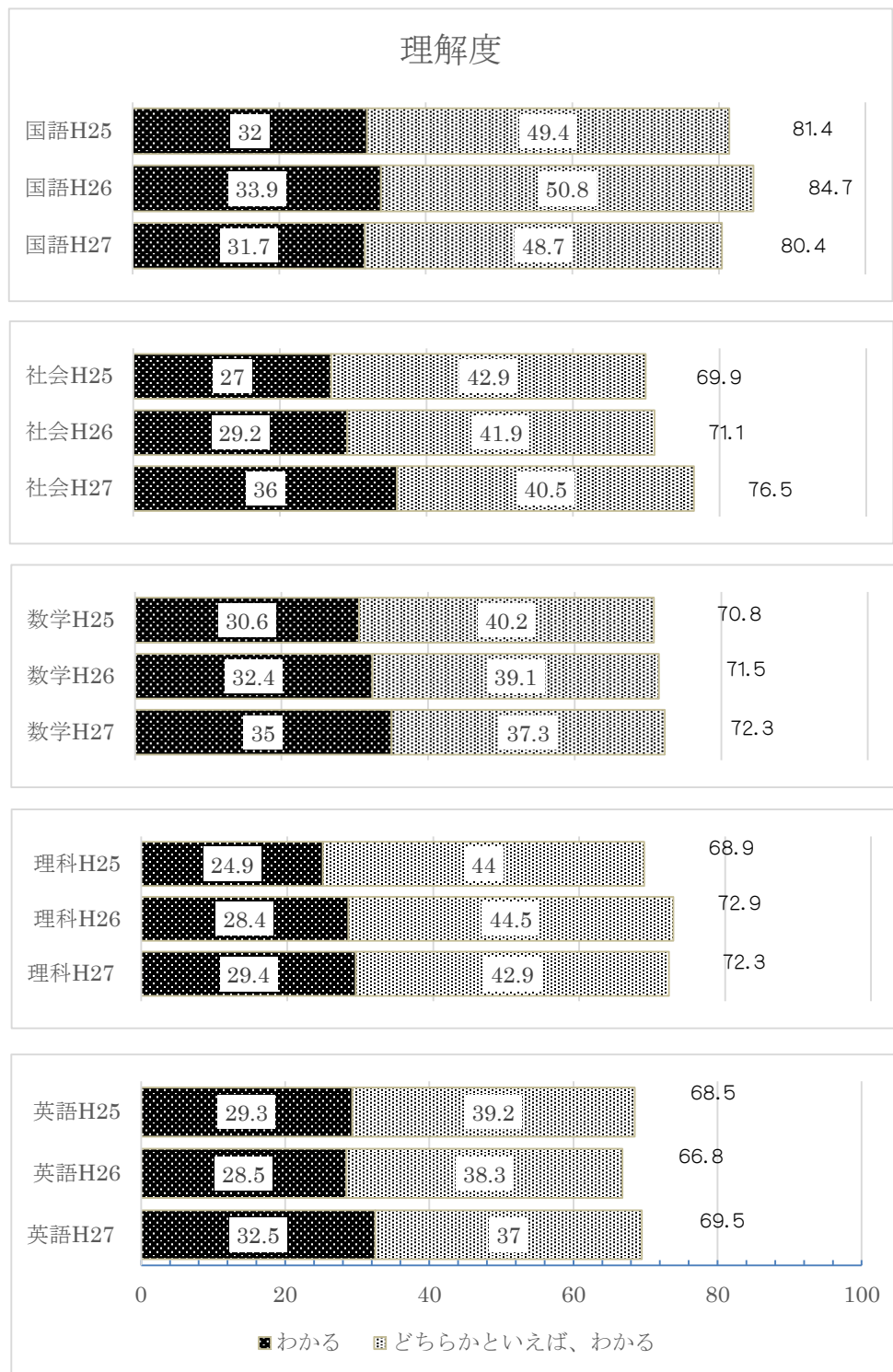
◎ 生活や学習についてのアンケートについて

1. 授業に対する好感度、理解度、有用感について



○授業の好感度（「好き」「どちらかといえば好きだ」を合わせた割合）が最も高いのは「社会」の63.5%で、以下「国語」（59.4%）、「理科」（58.6%）、「英語」（58.2%）、「数学」（56.3%）となっている。

○過去3年間の各教科の好感度の平均は、「国語」は60.9%、「社会」は58.0%、「数学」は55.1%、「理科」は58.2%、「英語」は56.4%である。



○授業の理解度（「わかる」と「どちらかといえば、わかる」を合わせた割合）が最も高いのは「国語」で80.4%、以下、「社会」（76.5%）、「数学」（72.3%）、「理科」（72.3%）、「英語」（69.5%）となっている。

○過去3年間の各教科の理解度平均は、「国語」は82.2%、「社会」は72.5%、「数学」は71.5%、「理科」は71.4%、「英語」は67.4%である。

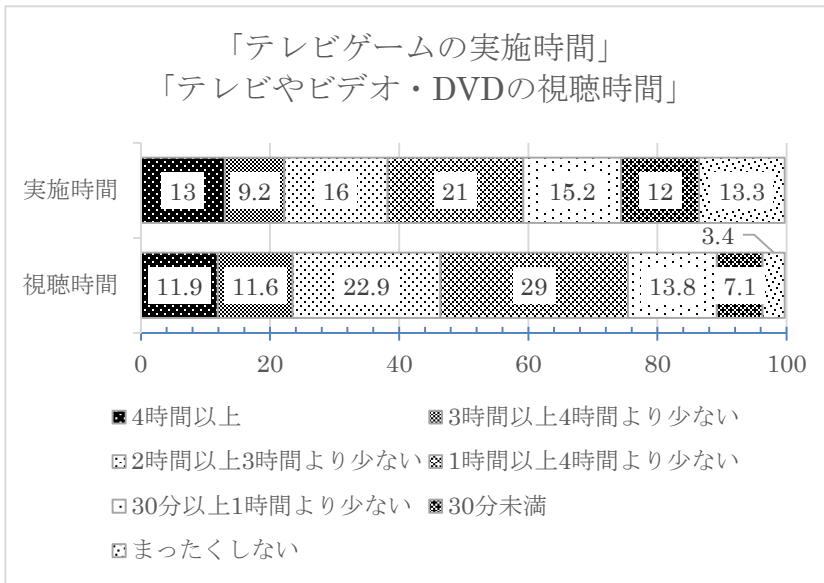


○学習に対する有用感（「役に立つ」と「どちらかといえば、役に立つ」を合わせた割合）が最も高いのは「国語」の86.0%で、以下「英語」（78.7%）、「数学」（77.9%）、「社会」（59.8%）、「理科」（55.2%）となっている。

○過去3年間の各教科の有用感の平均は、「国語」は85.9%、「社会」は57.3%、「数学」は77.8%、「理科」は53.8%、「英語」は76.9%である。

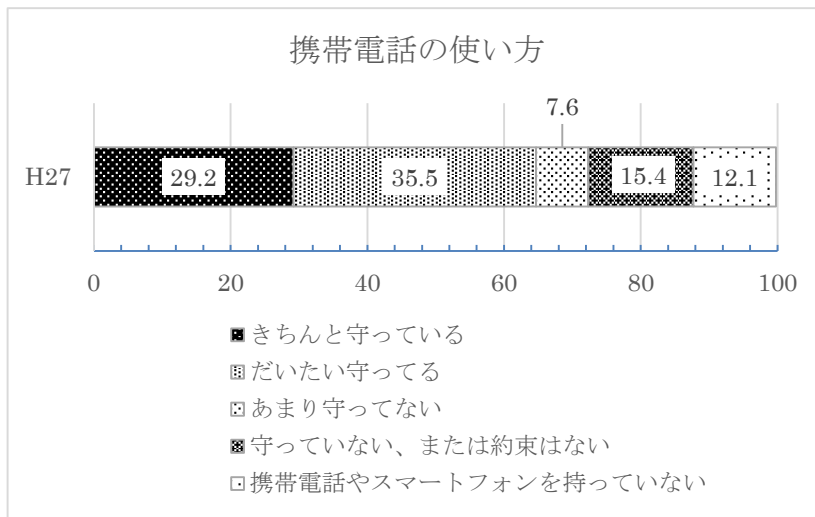
今後ともそれぞれの教科において、学習のねらいを明確にした授業、できるようになりたいという生徒の学ぶ意欲を大切にしながら、きめ細やかな分かる授業づくりを進めていく必要がある。

2. 家庭生活の実態について

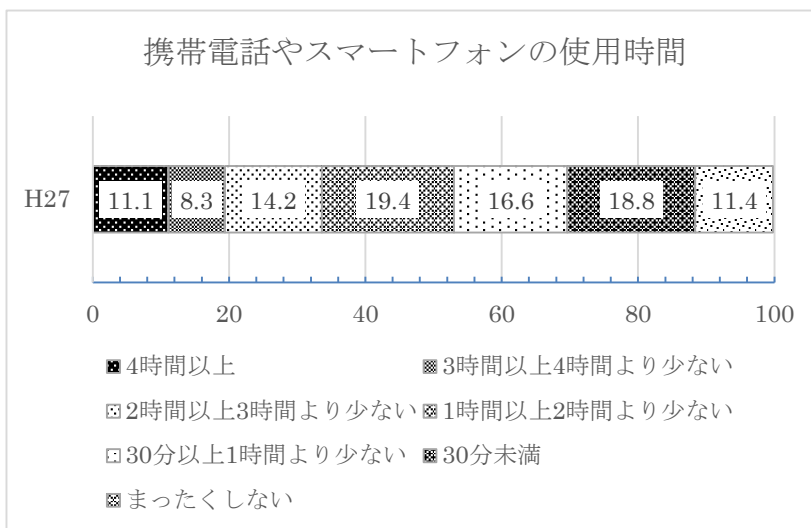


「学校がある日、1日当たりどれくらいの時間テレビゲームをしますか。」では、「1時間以上」と回答した生徒は59.2%、「3時間以上」22.2%である。

「学校がある日、1日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり聞いたりしますか。」では、「1時間以上」と回答した生徒は、75.4%、「3時間以上」23.5%である。



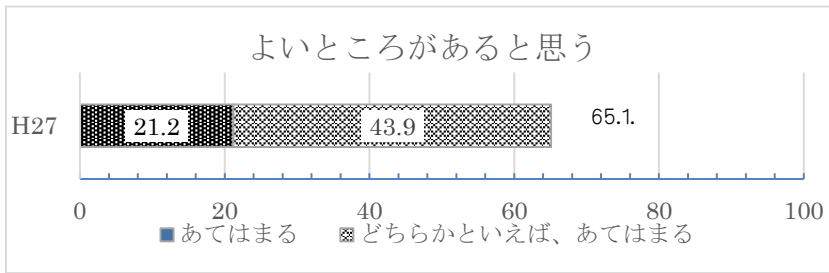
「携帯電話やスマートフォンの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか。」では、「きちんと守っている」「だいたい守っている」と回答した生徒は、64.7%である。また、「携帯電話やスマートフォンを持っていない」と回答した生徒は、12.1%である。



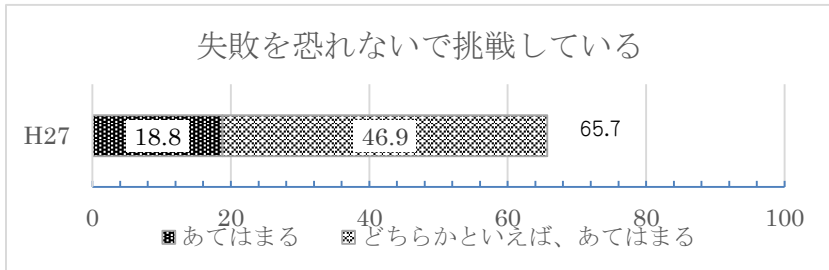
「学校がある日、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか。」では、「1時間以上」と回答した生徒は53.0%、「3時間以上」19.4%である。

携帯電話やスマートフォンの所有率が高くなったことが影響し、3時間以上使用している生徒の割合が2割近くを占めている。家庭学習の充実が求められていることから、ゲームをする時間や携帯電話等の使い方については、家庭で約束事を決め、守るよう働きかけ、経年での変化や全国調査との関係を見ていく必要がある。

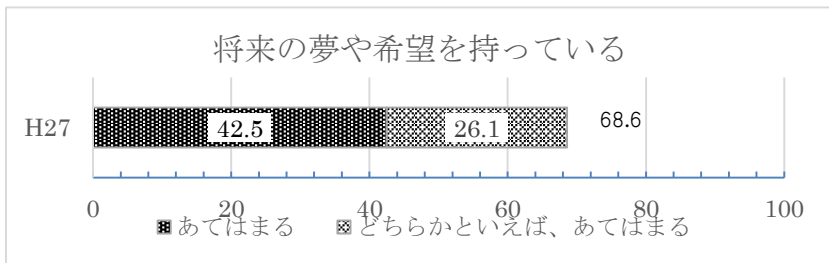
3. 自尊意識・将来に関する意識などについて



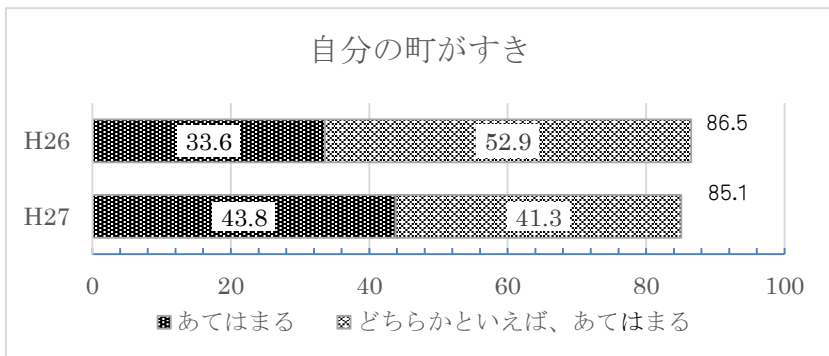
「自分には、よいところがあると思いますか。」では、「あてはまる」「どちらかといえば、あてはまる」と回答した生徒は、65.1%である。



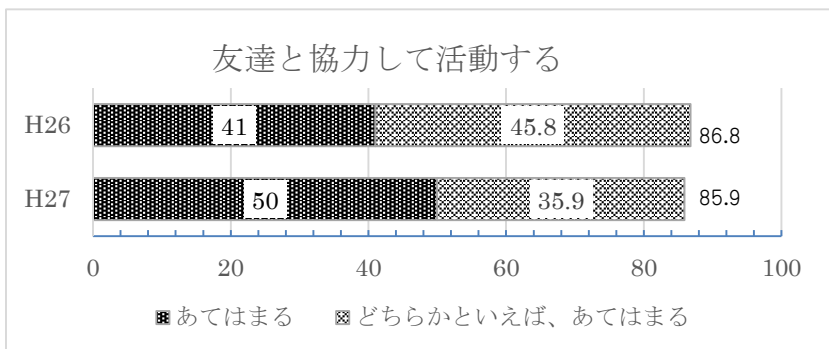
「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか。」では、「あてはまる」「どちらかといえば、あてはまる」と回答した生徒が65.7%である。



「将来の夢や希望を持っていますか。」では、「あてはまる」「どちらかといえば、あてはまる」と回答した生徒が68.6%である。



「自分の住んでいる町がすきですか。」では、「あてはまる」「どちらかといえば、あてはまる」と回答した生徒が85.1%、昨年度と比較すると、「あてはまる」と回答した生徒が10.2ポイント高くなっている。



「友達と協力しながら、活動したり勉強したりすることはすきですか。」では、「あてはまる」「どちらかといえば、あてはまる」と回答した生徒が85.9%、昨年度と比較すると、「あてはまる」と回答した生徒が9.0ポイント高くなっている。

自分の町を愛する気持ちや、他者と協力して活動することは、かわさき教育プランにおいても大切にしているところであり、今後とも学校では、これらのことを意識した教育活動を進めていくことが大切である。